

2009年3月17日  
京都FD開発推進センター

### 名古屋大学 訪問報告

日時：平成21年3月7日（土）

場所：名古屋大学東山キャンパス IB電子情報館

参加者：深野、川面（FD開発推進センター）、東南（大学コンソーシアム京都）

#### 大学教育改革フォーラム in 東海2009 参加

##### ■基調講演：「東海地域の大学を元気にする教育改革とは」

講師：ハンス ユーゲン・マルクス 南山学院 理事長・南山大学 学長

東海地域の大学の特性について触れた上で、今後「選ばれる大学」であり続けるための組織的な大学同士の協力体制の構築の重要性について講演された。

1993年に始まった愛知学長懇話会に加え、新たに立ち上がったFD・SDコンソーシアムへの期待を述べた上で、文化のまちづくり委員会によって実施された「提言活動に向けた名古屋の学生アンケート 報告書」を引用し、教育改革も地の利を活用しながら取り組むべきとの見解が示された。

##### ■セッション1 に参加

- ・「大学認証評価への対応」
- ・「学習意欲を高める授業上の創意工夫」

学生の学習意欲を高めるための各教員の授業における創意工夫の取り組みについて3大学での事例の発表と質疑応答が行われた。

##### ■セッション2 に参加

- ・「高校は大学をどう見ているか」
- ・「FD・SDのノウハウをどう共有するか」

FD・SDコンソーシアム名古屋加盟校による米国POD(Professional and Organizational Higher Education) 2008年次大会視察での知見を元にした、日本の大学での活用方法についての発表と意見交換が行われた。

##### ■パネルディスカッション：「授業時間外の学習をどう支援するか」

パネリスト：井下理氏（慶応義塾大学）、神崎裕子氏（愛知淑徳大学）、山下啓司氏（名古屋工業大学）

時間外学習支援の組織的取り組みについて、パネリストの所属する大学での実践内容の報告と意見交換が行われた。

また、昼食時間中には通路において大学教育改革をキーワードとした様々なテーマのポスターセッション（23件）が実施され、活発かつ和やかな交流が見られた。

以上